企業・団体名（　株式会社ウエキ伝導機　）

（様式第３号）

SDGs達成に向けた具体的な取組（要件２）

	カテゴリ	非該当	チェック項目	取組レベル	具体的な取組 （県などの取得認証があれば、併せて記載してください。）	主なSDGs（17ゴールと169ターゲット）関連項目 1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
1	人権・労働		【差別の禁止】 ・性別、年齢、障がい、国籍、出身などによる差別を防ぐ教育体制や相談体制を整備し、差別がないことを確認している	基本	社内において差別禁止等を徹底しているほか、朝礼における理念確認の中で「お互い様の精神」を共有している。					5.1 5.2 5.5			8.5 8.7 8.8		10.2 10.3						16.1 16.2 16.7	
2			【ハラスメント禁止】 ・セクハラ、マタハラ、パワハラ等のハラスメントを防ぐ、ルール・教育・相談体制を整備している	基本	就業規則の中で各種規定を明示し、ハラスメント禁止の遵守を心がけている。					5.1 5.2 5.5			8.5 8.8								16.1	
3			【労働時間】 ・過度な長時間労働の防止に取り組んでいる	基本	残業申請について原則申告制にしているなど、長時間労働の防止に取り組んでいる。								8.5 8.8									
4			【外国人労働者】 ・外国人労働者に対する差別、人権侵害がないことを確認している	基本	当社には現在外国人労働者はいないが、取引先における外国人労働者に対しても通常通り接するよう心がけている。				4.4				8.7 8.8		10.2 10.3							
5			【労働安全衛生】 ・作業中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境の整備に取り組んでいる	基本	工場内の作業における防塵マスク等の支給･定期交換を行っているほか、今後さらなる安全性向上のためアシストスーツの導入を検討している。			3					8									
6			【メンタルヘルス】 ・労働者のメンタルヘルスを良好に維持できるように対策に取り組んでいる	基本	日々の声かけを経営陣から率先して行うなど、常にメンタル面のケアを心がけているほか、総務の担当がメンタル面で従業員に声かけを行っている。			3														
7			【ダイバーシティ経営】 ・多様な人材（女性、外国人、障がい者、高齢者等）が、十分に活躍できる環境の整備に取り組んでいる	基本	女性が働きやすい環境を率先して構築しているほか、バリアフリー化した職場により障害者雇用も推進している。					5.1 5.5			8.5		10.2 10.3							
8			【人材育成】 ・適切な能力開発、教育訓練の機会を従業員に提供している	基本	経営者団体の研修等に積極的に参加を促すことで、能力開発に加えて主体的に動くことの重要性を浸透させている。				4	5.5			8	9								
9			【公正な待遇】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿って対応している	基本	正社員･パート従業員問わず、人事評価制度に基づき同一労働･同一賃金等の原則に沿って対応している。					5.5			8.5		10.2 10.3							
10			【健康経営】 ・従業員への健康投資による生産性の向上等に取り組んでいる	チャレンジ	40歳以上の人間ドック受診全面負担のほか、福利厚生によりメンタル面の健康を維持する取り組みを行っている。またスポンサーのスポーツチケット観戦の機会も提供し、健康意識の向上に努めている。			3					8									
11	環境		【廃棄物】 ・廃棄物の管理を適切に行い、適切な処理に取り組んでいる	基本	業者に依頼の上で、マニフェストを適切に管理しているほか、社内においても分別を徹底している。											11.6	12.4		14.1			
12			【エネルギー・温室効果ガスの現状把握】 ・自社のエネルギー使用量、温室効果ガス排出量を把握している	基本	毎月の電気料金を把握していることに加え、冬場の灯油においても使用量を適切に把握している。							7.3						13				
13			【省エネ・温暖化対策の計画・取組】 ・自社の温室効果ガスの排出量を把握し、排出の抑制に取り組んでいる	基本	事務所の電化を促進し、照明等のLED化も行ったため、冬場の灯油量削減が図れCO2削減につながっている。							7.2 7.3					12.4	13.3				
14			【有害化学物質】 ・法令等で規制されている有害化学物質を把握し、使用量の抑制及び適切な使用に取り組んでいる	基本	当社は業務において有害化学物質を使用する機会はないため、該当しない。			3.9			6.3					11.6	12.4					
15			【生物多様性】 ・自社活動が生物多様性や生態系に悪影響を及ぼさないよう配慮している	基本	工場内ダストなど環境に影響のある物質について、外部に漏れないようフィルダー等の設置により徹底対策をしている。						6.6									15		
16			【３Ｒの推進】 ・リデュース、リユース、リサイクルに取り組んでいる	基本	信頼できる外部業者に依頼し、金属材および紙・プラスチック等のリサイクルを徹底している。												12.5		14.1			
17			【水の管理】 ・水資源の利用状況を適切に管理し、利用効率の改善に取り組んでいる	チャレンジ	当社は現在水資源の利用について最小限にとどめており、無駄な水の利用は行っていない。						6.4 6.6											

	カテゴリ	非該当	チェック項目	取組レベル	具体的な取組 （県などの取得認証があれば、併せて記載してください。）	主なSDGs（17ゴールと169ターゲット）関連項目																
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
18			【環境マネジメントシステム】 ・ISO14001、エコアクション21または同等の環境マネジメント規格を取得している	チャレンジ	当社は現在環境マネジメント規格を取得しておらず、自社業務を踏まえ今後も取得する予定はないため、該当しない。			3.9			6	7					12	13.3	14	15		
19			【環境情報開示】 ・環境の取り組みに関する情報を正しく開示している	チャレンジ	(予定)今後遮熱･断熱に関する部品を取り扱うため、これらの製品についてWebサイト等を通じて随時公表する予定である。												12.6					
20			【再生可能エネルギーの利用】 ・再生可能エネルギーの利用に取り組んでいる	チャレンジ	(予定)現在は蓄電池の性能が基準を満たさないため導入していないが、今後蓄電池の性能向上により導入を検討する。							7.2						13				
21			【天然資源の持続的利用】 ・天然資源の持続的利用に配慮した調達に取り組んでいる	チャレンジ	社内で材料を余すことなく有効利用する方針を掲げており、ムダ削減により無駄な調達がないよう取り組んでいる。												12.2	13	14	15		
22	公正な事業慣行		【汚職・贈収賄防止】 ・汚職・贈収賄を禁止する方針を掲げ、社員に周知している	基本	取引先や関係先などで贈収賄を行うことがないよう、社内に周知徹底している。																16 16.5	
23			【公正な競争】 ・不正競争行為に関与しない方針を掲げ、社員に周知している	基本	他社の取引において不正が疑われるケースにおいても、当社は公正な競争を行うことを社員に周知徹底し、取り組んでいる。																16	
24			【知的財産保護】 ・知的財産の保護に取り組んでいる	基本	現在自社で商標権を保有しており、知的財産の保護に取り組んでいる。今後も知的財産の取得は積極的に行う方針である。								8.2 8.3	9								
25			【個人情報保護】 ・個人情報を適切に管理している	基本	個人情報に関しては担当者を置いて適切に管理しているほか、担当者以外は取り扱えないような体制を整えている。																16	
26			【紛争鉱物】 ・紛争鉱物を取り扱っていないことを確認している	チャレンジ	紛争鉱物について当社の取引先から調査等が入るため、これらの調査等においても取り扱いは一切無いことを確認している。																16	
27			【サプライチェーン管理】 ・サプライヤー、事業パートナー等と、人権侵害の防止、生物多様性や生態系への悪影響の防止、倫理面での適切な対応（ハラスメント・汚職・贈収賄防止）について認識を共有し、共に取り組んでいる	チャレンジ	当社顧客および取引先でSDGsに取り組んでいる企業が多いため、主に包装材・緩衝材の削減などを協働で取り組んでいる。					5			8		10		12	13	14	15	16	17
28	製品・サービス		【製品・サービスの安全性】 ・製品・サービスの安全性を確保するための仕組みを構築している	基本	製品ランクに応じて検査等の基準を定め、厳格に検査する製品を事前に選定することで安全性を確保している。			3.9									12.4					
29			【品質保証】 ・品質のよいモノやサービスを提供するための仕組みを構築している	基本	定期的な品質管理(検査･洗浄)を行っているほか、クレーム対応なども仕組み化することで対応をスムーズに行っている。									9								
30			【環境配慮】 ・環境に配慮した製品の開発・設計に取り組んでいる	チャレンジ	当社の既存製品では環境配慮に関する製品は保有していないが、現在新たに環境配慮に資する木製ブラインド開発･設計に取り組んでいる。						6						12	13	14	15		
31			【社会課題解決】 ・社会課題を解決する製品・サービスの開発・展開に取り組んでいる	チャレンジ	(予定)新サービスで社会課題解決に資するプラットフォームを開発しているため、今後リリースに向けて取り組んでいく予定である。	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17

		非該当	チェック項目	取組レベル	具体的な取組 （県などの取得認証があれば、併せて記載してください。）	主なSDGs（17ゴールと169ターゲット）関連項目																
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
32	社会貢献・地域貢献		【地域への配慮】 ・自社事業が地域に与える影響を把握し適切に対応している	基本	当社全体で地域活動へ積極的に参加しているほか、経済団体等の活動も行っている。				4					9		11	12		14	15		17
33			【社会貢献活動】 ・寄付、ボランティアなど社会貢献活動に積極的に取り組んでいる	チャレンジ	地域団体を通じて寄付活動を積極的に行っているほか、地域のNPOに寄付も積極的に行っている。				4							11			14	15		17
34			【地域資源】 ・地域資源を積極的に利用（地消地産、地産外商）している	チャレンジ	自社や地域における会議がある場合は積極的に地元の事業者を活用し、地域に循環させることを心がけている。								8	9		11	12	13				
35	組織体制		【内部管理体制】 ・経営理念及び経営目標を社内で共有している	基本	当社は毎年経営指針を作成しており、経営理念・経営目標を社内で共有し、実践につなげている。								8	9								17
36			【法令遵守】 ・法令遵守の考えが社内に浸透し、法令を確実に遵守する体制・仕組みを構築している	基本	労務管理等を含め、すべての法令に関して遵守する仕組みを総務部門中心に整えている。																16	
37			【組織体制】 ・企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対応する担当、専門部署などの体制を整備している	基本	（予定）当社は現在担当者がいないため、今後は総務部門を中心に、SDGs担当者を据えて体制を整備する予定である。																16	
38			【ステークホルダーとの対話】 ・ステークホルダー（※）との対話により、自社の活動がステークホルダーに及ぼす影響を把握し、適切に対応している（※利害関係者：消費者、投資家等及び社会全体）	基本	カタログ等の配布だけでなく不要なカタログの回収を行うなど、ステークホルダーにも協力いただきながら実施し、適切に対応している。																16	17
39			【リスクマネジメント】 ・リスクを特定、評価し、マネジメントするプロセスを整備している	チャレンジ	（予定）当社は現在リスクを特定する取り組みは行っていないが、今後マネジメントプロセスを整備し、リスクに備えていく。																16	
40			【社会的責任】 ・ＣＳＲ（Corporate Social Responsibility：企業の社会的責任）の考えに基づき企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対して、責任を持った対応に取り組んでいる	チャレンジ	企業が地域のために存在するという前提のもと、通学路の雪かきや子供の見守りを行うなど、CSRの考えに基づきながら活動している。																16	
41			【事業継続】 ・事故や災害などの発生における事業継続計画を立案している	チャレンジ	（予定）当社は現在事業継続計画を策定していないが、今後は社内で協議しながら策定していく予定である。									9		11		13 13.1			16	
42			【事業承継】 ・事業承継に関する検討・対策を行っている	チャレンジ	（予定）当社は現在事業承継にあたる段階ではないが、今後後継者を選定し、育成も踏まえて承継の準備を行う予定である。								8	9								17

上記以外で設定した取組項目

独自に設定したSDGsに資する取組	具体的な取組	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17

【記載留意事項】

・「取組レベル」の「基本」の項目のすべてに「具体的な取組」が記載されることが登録の必須条件となります。なお、今回の宣言に合わせて、今後、取り組む予定のものにあっても「具体的な取組」を記載いただければ登録が可能です。（今後、取り組むものについては、「具体的な取組」の前に【予定】と記載してください。）

・「非該当」欄については、「チェック項目」が事業形態上（個人事業主等）、該当しない場合にチェックし、その理由を「具体的な取組」欄に記載してください。

・「具体的な取組」には、チェック内容に関する具体的な取組を記載してください。

また、取組に関連する国際機関、国、県、市町村等の認証・認定等（※）を取得している場合は、その旨を併せて記載してください。

（※職場いきいきアドバンスカンパニー認証制度、信州福祉事業所認証・評価制度、えるぼし認定、森林認証制度、森林CO2吸収評価認証制度、長野県県産材CO2固定量認証制度、消防団協力事業所表示制度など）